

# 藤枝市教育委員会

## 令和元年6月定例会会議録

藤枝市教育委員会 令和元年6月定例会会議録

- 1 開催日 令和元年6月27日
- 2 場所 藤枝市役所西館5階 第2委員会室
- 3 会議に附した事項 (別紙のとおり)
- 4 出席委員  
教育長 中村 禎  
教育長職務代理者 横山 久男 委員 増田 貴司  
委員 浅井 好美 委員 山田 美穂子
- 5 欠席委員
- 6 出席した事務局職員  
教育部長 片山 豊実 教育政策課長 杉原 一行  
学校教育監 小林 彰 主席指導主事 三須 貞佳  
学校給食課長 平澤 孝之 生涯学習課係長 大上 晃彦  
図書課長 杉本 守  
総務係長 小澤 峰樹 書記 岩井 美和

# 教育委員会 令和元年6月定例会

日 時 令和元年6月27日 午前10時  
場 所 藤枝市教育研修センター（岡部支所分館内）

1 開 会 午前10時00分

2 会議録署名委員氏名 横山久男委員、山田美穂子委員

3 日程第1

第23号議案 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果公表における本市の考え方について

4 日程第2 諸般の報告

---

教育部長	1 6月市議会定例会質疑応答要旨
教育政策課長	1 小・中学校の空調（エアコン）設備及びスポットクーラーの設置について 1 藤枝市小中学生見守り推進事業を開始します 1 夏の Pepper プログラミングアカデミーを開催します 1 Enjoy Robot 講座を実施します ～静清高校で学ぼう～
主席指導主事	1 令和元年度藤枝市学校経営委員会への研究委託について
学校教育監	1 藤枝市・白山市中学生交歓会を開催します 1 第1回イングリッシュキャンプを実施しました
生涯学習課係長	1 家庭教育学級合同講演会を開催します『ほめて輝く子どもの力』 1 第43回青少年健全育成・第69回社会を明るくする運動「藤枝市民大会」を開催します 1 藤枝市ジュニアリーダー養成教室を開講します 1 藤枝市親子写生大会特別賞表彰式を行います
学校給食課長	1 学校給食で発生する廃棄物の3R促進事業 ～親子で参加する3R体験ツアーを実施します～
図書課長	1 令和元年夏に開催する主な図書館行事について

5 開 会 午前11時10分

# 教育委員会 令和元年6月定例会

日 時 令和元年6月27日 午前10時  
場 所 藤枝市教育研修センター（岡部支所分館内）

開 会

午前10時00分

教育長

ただいまから藤枝市教育委員会6月定例会を開会します。  
それでは会議録署名委員を指名します。会議録署名委員に、横山久男委員、山田美穂子委員を指名します。

## 日程第1

教育長

これより日程第1に入ります。第23号議案「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果公表における本市の考え方について」を議題といたします。それでは事務局より説明をお願いします。

学校教育監

【第23号議案 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果公表における本市の考え方について】

●全国学力・学習状況調査の結果公表における本市の考え方を提案

■全国学力・学習状況調査の実施

4月18日（木）

小学校6年生、中学校3年生を対象

小学校：国語、算数 中学校：国語、数学、英語

調査の目的：児童生徒の学習状況の改善に努め、今後の授業改善や学校運営に生かす

8月下旬に県教育委員会から、各市町に結果を送付

それを受けて各学校へ結果を送付、児童生徒個々に結果を知らせ、今後の学習の進め方等について個別指導を行う

各学校では調査結果を分析し、成果や課題を明らかにし、今後の授業改善や学校運営につなげていく

■調査結果の公表の方法

国や県と比べてどのような状況なのかを数値ではなく記号を用いて表して行きたい

◎ 国・県の平均を大きく上回る

○ 国・県の平均を上回る

— 国・県の平均と同じ程度

△ 国・県の平均を下回る

□ 国・県の平均を大きく下回る

学校としては、国・県・市と比較し受講の傾向や課題・今後の対応策等をまとめ学校便り等で地域や保護者に公表をしていく  
その際には数値は用いず、記号や言葉で表す  
9月中に児童生徒に個別指導を行い、10月上旬に市の分析結果を学校へ公表するとともにホームページ上で公開

教育長

ではこれより質疑に入ります。質疑はありませんか。

横山委員

個別指導という言葉ができましたが、非常に難しいと思います。たとえば1人5分ずつ話をしても、35人いると3時間～4時間かかるので、それを目指すのは非常に難しいと思います。また授業の中で個別指導をするとすると、一人ひとりの子どもに適切な指導がその都度できるかという課題があるかと思いますが、先生方にしっかりそのことを頭に置いていただいて、少しの時間でも良いので全員に指導していただきたいと思います。

学校教育監

各学校の状況に合わせて対応していくことになると思います。子どもはもちろんですが、保護者との面談等でも結果を活用して、子どもと保護者に学力・学習の状況について話し合い、一緒に考えていくことになると思います。また校長会でも話をしていきたいと思います。

浅井委員

結果について学校に知らせた後、地域住民に公表するということになっておりますが、学校便りなど公表する手段は各学校に任せられているのでしょうか。私も広報などはこまめに見ているつもりなのですが、今までそういったものがあつたのかなと思いました。これからコミュニティスクールなどがあるので、みなさんに関心を持ってもらえると、今求められている力などを考えるきっかけになれば良いなと思いました。地域住民というと学校に子どもが行っていない世帯が多くなっている地域などは、どのように伝わっているのかなと思ひ質問させていただきました。

学校教育監

ほとんどの学校は学校便りで結果を保護者へ知らせています。教育委員会にも学校便りを送ってもらうよう指示をしています。ただ地域の回覧につきましては、学校によって、回覧していない学校もあるかもしれませんので、できるだけ地域の方へ回覧をするよう話をしていきたいと思ひます。

教育長

以上で質疑を終結いたします。これより討論に入ります。討論はありませんか。

一同

『ありません』

教育長

以上で討論を終結いたします。

これより第23号議案「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果公表における本市の考え方について」を採決いたします。本案を原案の通り可決することにご異議ありませんか。

一同

『異議なし』

教育長

異議なしと認め、本案は原案の通り可決されました。

## 日程第2 諸般の報告

教育長

これより日程第2、諸般の報告について、教育部長から順にお願いします。

教育部長

### 1 6月市議会定例会質疑応答要旨

私から6月市議会定例会で、教育に関する質疑がありましたので説明いたします。

本議会におきまして16名の議員から質問がありました。その内教育に関する一般質問として7名、再質問で2名合計9名から質問を受けました。

#### ■八木議員「登下校時における子どもの安全と課題について」

昨年国が示しました、登下校防犯プランの本市の対応状況について質問がありました。警察と共に通学路の危険箇所の緊急点検を実施していること、不審情報について学校・警察・関係機関との共有する体制が整っていることなどの現状と、全ての学校で体験型の防犯教室ができるようにPTAや子ども会あるいは市民を対象にした講座の開催について検討していくと答弁させていただきました。

#### ■深津議員「子ども達の交通安全について」

通学路におけるブロック塀の安全対策の進捗状況と通学路と出勤車両の区分けについて質問がありました。

昨年8月に実施しました、ブロック塀の緊急点検の結果、危険と思われる通学路のブロック塀が409件報告されまして、その内297件は専門家の診断を実施しており、297件の全てが要注意、もしくは危険と判定されました。

この内25件の改修が済んでいます。未改修、未調査のブロック塀については職員が個別に訪問し、所有者に協力を要請していくという答弁をしています。通学路と出勤車両の区分けについてですが、ハード面の整備も順に行っている部分もありますが、併せて時間帯の通行規制や速度規制などのソフト面も考慮していく必要があるのではないかとということで答弁をさせていただいております。

#### ■天野議員「給食における食物アレルギー対策について」

アレルギーを持つ児童生徒の状況、アレルギー対応マニュアルに対応した基準の必要性、アレルギーに対応した施設改修や組織体制について質問をいただきました。本市につきましては、アレルギーを持つ児童生徒はここ数年4%前後で推移しております。アレルギーを持つ子どもの給食対応についてですが、アレルギー疾患の特徴として、同じアレルギー疾患であっても一人ひとり大きく異なるため各学校では対応マニュアルに基づいた個別の取り組みプランを作成して対応しています。そのため、新たな基準は設けませんが、困難な事例については養護教諭や栄養教諭など複数で対応しますと答弁しております。施設につきましてもアレルギー対応室等の施設改善の必要性は認識しており、組織体制も含めてあらゆる角度から検討を進めるという答弁をさせていただきました。

#### ■増田議員「通学路/通園路の交通安全について」

定期的な通学路の点検と課題・対策についての質問がありました。毎年4月にPTAや自治会町内会の協力を得て通学路の安全点検を実施してお

り、報告された危険箇所については関係部署、あるいは関係機関と改善に向けて協議をして、具体的な取り組みをしております。その結果についても、学校や各地区交流センターを通じて、地域へも周知をしているという答弁をさせていただきました。また、通学路の改善について広く市民等に周知するために、ホームページの活用についての提案がありまして、それらについては前向きに検討していくという答弁をさせていただきました。

■石井議員「未来を生き抜く力の育成と小中一貫教育について」

現状として、小学校6年－中学校3年制と中1ギャップの存在や中1ギャップを解消することの検証、またコミュニティスクールを進める理由等の質問がありました。現行の制度がだめということではなく、義務教育を9年間と連続した期間と捉えまして、計画的・系統的指導を行い、地域総ぐるみで子どもたちの育ちを支援する体制を構築するために小中一貫教育を進めているということ、中学校生活にうまく適応できない中1ギャップはあると捉えていますが、こうした現れについては中学1年生に突然起こったり、教師の違いによって起こるというものではなく、小学校から中学校へあがる段階がひとつの引き金となって現れているものと理解しています、という答弁をいたしました。また、コミュニティスクールについてですが、地域総ぐるみで子どもの豊かな成長を支える仕組みづくりとして有効なため、全中学校区で進めていきたいという答弁をいたしました。

■岡村議員「高柳の義農石上清兵衛を藤枝市史に」

教育の立場からの所見について質問がありました。身近な教材であり、責任感や正義感を深く考えることができる題材でもあると考えておりまして、現在改定中の中学校の社会科資料集に掲載するよう編集中であるという答弁をさせていただきました。

■遠藤議員「郷土の俳人村越化石について」

市民の認知度が低いと感じるが、教員あるいは小中学生への指導について質問がありました。小中学生につきましては、毎年、村越化石氏の俳句大会に参加しており、また、昨年度村越化石氏を紹介するDVDを文化課の方で作成しまして、それを各学校にダビングしたものを配布していただきました。これらのDVDを授業などで活用すること、あるいは教員にも見ていただくようにして周知を図っていききたい、指導していききたいという答弁をさせていただきました。

■油井議員「児童・青少年の健全育成について」

ボーイスカウトの指導者が取り入れている「セーフ・フロム・ハーム」についての考え方、あるいは小中学校や各種団体に対する「子どもを危害から守る」ための指導について質問を受けました。本市の小中学校では、「セーフ・フロム・ハーム」の互いに思いやることを大切にする点でピア・サポートと共通するものがあり、大人のためのピア・サポート講座を開催し市民にもピア・サポートを広めて理解を深めているところです。各種団体につきましては、関係機関主催による、指導者向けの「子どもを危害から守る」ことを含んだ研修が行われているということで答弁いたしました。

■平井議員「瀬戸谷小中一貫教育モデル地区の中長期ビジョンについて」  
施設一体化と義務教育学校に向けた検討、施設一体化によってできる跡地の有効利用、コミュニティスクールの役割について質問がありました。  
先行実施している、瀬戸谷地区の小中一貫教育ですが、子どもにとっても良い形で進められているということで教育委員会としても評価しています。本市の小中一貫教育は、施設一体化や義務教育学校を目指しているモデルではありませんが、地元からそのような意見があれば、住民の意向を十分に踏まえて検討する必要があると考えております。  
跡地利用につきましては、仮にそのような状態になれば住民の意見を聞きながら本市にとって有効で地域の発展につながるものになるように検討していくこと、コミュニティスクールについてですが、地域とともにある学校づくりを地域から支えていただく仕組みであり、これを導入することによって子ども達が地域との交流機会が増え、郷土を大切に思う心が育まれ、将来的に地域を支える大人になることを期待していると答弁いたしました。

今議会の特徴として、最近子どもが犠牲になる事件・事故、高齢者が起因となる交通事故が多発していることから、本市の状況や教育委員会の対応についての質問があったこと、また小中一貫教育と本年度から導入したコミュニティスクールに対する質問が中心になりました。いずれも大きな課題や宿題が残ったものはありませんでした。答弁の詳細については、今日の資料をご覧くださいと思います。

教育政策課長

#### 1 小・中学校の空調（エアコン）設備及びスポットクーラーの設置について

●近年の異常気象により、夏場の暑さが生命を脅かすほど上昇している。  
そこで、子どもたちが安心して学べるよう全小中学校の普通教室に空調設備の設置を進めてきたが、すべての設置が完了  
また災害発生時に避難所になっている小中学校の体育館についての熱中症対策として環境改善を図るためスポットクーラーを設置

##### 空調設備

全小中学校の普通教室 合計 429 室

○小学校・・・5 月末までに整備が完了し、6 月 10 日より運用開始

○中学校・・・6 月 24 日に整備が完了し、7 月 1 日より運用開始

##### スポットクーラー

全小中学校の体育館に 4 台ずつ 合計 108 台

○全小中学校・・・7 月中旬までに設置が完了、完了しだい運用開始予定

##### 今後の運用

空調設備は藤枝市立小中学校空調設備運用指針を作成し統一した指針で運用

夏季の運用は 6 月から 9 月の期間で教室内の温度が 28℃以上の日を基本

温度設定は基本 28℃（状況に応じ 23℃から 28℃での一時的な変更が可能）

運用指針の基準は基本的なもので、児童生徒個々の状況に応じ適宜運転を行い、熱中症へ対応

スポットクーラーは通常の授業等での利用も可能とする



## 1 藤枝市小中学生見守り推進事業を開始します

- 小中学生及びその保護者が安全で安心して生活できる環境整備のため、IoT端末を利用し、子どもの位置情報をスマートフォンで確認できるサービスを提供する事業者に対し、補助金を交付

平成 29・30 年度に I C T 推進室にて小 1 児童登下校お知らせサービス実証実験を行った際、実験参加者へのアンケートでは不安が解消されたと回答する保護者が 8 割以上あった。

民間の見守りサービスを利用する保護者の負担を軽減し、子どもの見守りを支援する

### 補助対象

市が定める要件を満たすサービスを提供する事業者

(株)T O K A I ホールディングス、中部電力(株)が参加予定)

### 補助額

サービスを利用するために必要な周辺機器の購入に対し、市内在住の児童生徒 1 人につき 1 回、5 千円を上限に助成

市が事業者に補助するため、保護者は無料で事業者から購入できる  
利用料が月々 480 円＋税がかかる

### R P A の活用

R P A を活用することで審査事務の効率化・迅速化を図る

R P A ・ ・ ・ 人工知能や機械学習などの認知技術を活用したオフィス業務の効率化や自動化に向けた取組。

## 1 夏の Pepper プログラミングアカデミーを開催します

### 講座概要

日時 第 1 回 7 月 2 8 日 (日)

第 2 回 8 月 1 1 日 (日)

第 3 回 8 月 2 4 日 (土) 全 3 回

会場 青島北小学校 多目的室

時間 午前 9 時～正午

対 象 市内公立小学校 4 年生～6 年生

(同じ小学校、同じ学年の児童 2 人 1 組)

募集人数 25 組 50 名 ※応募多数の場合は抽選

参加料 無料

内 容 Pepper のプログラムソフト「コレグラフィ」を使い、  
オリジナルのプログラムを作成

講師 静岡産業大学 情報学部 教授 佐野 典秀 氏、ゼミ学生 (数名)

## 1 Enjoy Robot 講座を実施します ～静清高校で学ぼう～

- 平成 27 年度より、ロボットづくり等の体験を通して科学技術に興味のある子どもを増やし、創造力・問題解決力を高めることを目的とした「ロボットアカデミー事業」を展開。その事業の一環として、静清高校と連携し、ロボットを作製する「Enjoy Robot 講座」を実施。

### 講座概要

日 時 8月10日(土)  
会 場 静清高校  
時 間 午前9時～午後4時  
対 象 市内小学校4年生～中学校3年生  
募集人数 30組 ※応募多数の場合は抽選  
参加料 無料  
申込方法 応募用紙に必要事項を記入し、各学校の教頭先生に提出  
内容 機体の組み立て、プログラミングでライン上を正確に走る  
ロボットを作製  
講師 静清高校 工学探究科 富山 一実 氏  
静清高校 特別常勤講師 中川 鉄夫 氏 他数名  
静清高校 ロボット部 部員数名

#### 主席指導主事

#### 1 令和元年度藤枝市学校経営研究委員会への研究委託について

●今日的な課題について、学校を単独で研究・検討することが難しいものについて委託先である学校経営研究委員会に研究を委託し、その成果を市の教育施策に反映することが目的

#### 第1回 学校経営研究委員会

日時 令和元年7月3日(水) 14:30～(生涯学習センター)

○本年度の研究について(委託内容)

#### ■経営研究部「安心・安全な学校づくりに向けて」

様々な安全上の課題に備えるための「危機管理対応マニュアル」の見直しを行う。

近年学校が直面している様々な安全上の課題に備えるための研究に取り組みます。文部科学省が平成30年2月に示した「学校の危機管理マニュアル作成の手引き」をもとに、地震によるブロック塀倒壊、不審者による登下校時の児童襲撃、夏季の災害級の猛暑等、新たな安全上の課題にも対応するためのポイントを押さえ、安心・安全な学校づくりのための体制強化に繋がります。

#### ■授業研究部「子供たちの確かな学力の育成と教員の授業力向上について」

藤枝市小中一貫教育カリキュラムの活用について研究を行う。

本市の小中一貫教育を根底から支え、発達段階に応じた一貫性のある学習指導を行うために作成した「藤枝市小中一貫教育カリキュラム」の活用状況について研究します。発行から1年が経過した現在の活用状況について調査・分析することで、一層の活用を促すとともに、より良い内容にリニューアルする際の参考となる提言を行います。

#### ■生徒指導研究部「誰もが安心して学べる学校づくりに向けて」

保護者と連携して生徒指導を充実させるための方策を研究

近年、生徒指導上の問題について学校の指導方針や対応内容等に関する保護者の理解が得られず、家庭と連携した指導が困難なケースが増加しています。そこで、保護者との信頼関係を築き、連携して生徒指導を充実させるための方策について研究します。保護者対応で留意すべき点や、過度な要求に対する対応のポイントを押さえることで、学校運営の安定を図ることに繋がります。

■学校事務改善研究部 「確実に適正な事務処理を円滑に行うために」  
処務規程の改正等、法・制度改正への対応について研究  
様々な条例等の改正が相次いでいる中、それらに対応した事務処理や様式変更等、各校で取り組まなければならないことを研究し、事務処理の確実性を高める提言をします。また、本年度からスタートした「共同学校事務室」の運営上の成果と課題を検証し、効率的な事務処理体制の構築に資する研究も行います。

## 1 藤枝市・白山市中学生交歓会を開催します

- ・両市中学生の相互理解を図り、親睦を深める。
- ・自校の生徒会活動の現状と望ましい活動のあり方等の話し合いを通して、両市中学校の学校生活の充実を図る。
- ・両市の良さを知り、郷土について改めて考える機会とする。

日 時

令和元年7月29日(月)～7月30日(火) 1泊2日  
焼津青少年の家に宿泊

参加校

【白山市】北星中学校 光野中学校 美川中学校 北辰中学校  
鳥越中学校

【藤枝市】青島中学校 高洲中学校 大洲中学校 広幡中学校  
岡部中学

・生徒 各校5名 ・引率教諭 各校1名 ・教育委員会 3名  
計33名

活動内容

- ・軽スポーツ交流(レクリエーション、ペタンク)
- ・各校の生徒会の実践紹介
- ・JAXAによる体験
- ・抹茶体験

## 1 第1回イングリッシュキャンプを実施しました

実施日時 令和元年6月22日(土)8:30～16:00  
会 場 スポーツパル高根の郷、大久保キャンプ場

参加者 児童生徒47人(応募総数103人)

【ALT・FCA】 9人

カナダ(ラッセル・トレバー)、シンガポール(グロリア) フィリピン(グレース)

ニュージーランド(パトリック) オーストラリア(ショーン・ジョハナ)

イギリス(ルーシー・ポール・リア)、コロンビア(アドリアナ)

内容

■世界のスポーツ体験(スポーツパル高根の郷) 9:30～12:30

ミニゴルフ(オーストラリア)、フロアホッケー(カナダ)、ラウンダーズ(イギリス)、キャプテンボール(シンガポール)の4種目をローテーション

生涯学習係長

ョンで体験しました。

ルール説明をALTが英語とジェスチャーのみで行いました。

■バーベキュー体験（大久保キャンプ場） 13:00～15:00

班ごとにバーベキューを行い、食べながらALTとのコミュニケーションを楽しみました。

1 家庭教育学級合同講演会を開催します 『ほめて輝く子どもの力』

●「教育日本一」を掲げ、行政・地域・家庭が一体となって子どもたちの成長を育む取り組みを行っている当市において、『ほめて認める子育て』についての講演会を開催し、家庭内におけるしつけや子どもとのかわり方を学ぶ。

対象 家庭教育学級制（小学校1年生の保護者） 約300名

市内読み聞かせグループ 約20名

更生保護女性会 約20名

人づくり推進員 約20名

家庭教育支援員 約10名

日時 令和元年7月4日 午前9時30分～11時30分

会場 生涯学習センター ホール

講師 一般社団法人 日本ほめる達人協会 武藤 隆是 氏

1 第43回青少年健全育成・第69回社会を明るくする運動「藤枝市民大会」を開催します

●心ゆたかでたくましい青少年を育成するための「青少年健全育成」の運動と、犯罪のない明るい社会を築くための「社会を明るくする運動」は、青少年の非行防止という共通の目標を掲げています。

家庭・学校・地域社会が一体となって、次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長していける社会を実現していくため、市民大会を合同で開催し、運動に対する市民の理解と協力を求めるものです。

日時 令和元年7月6日（土） 午前9時15分～正午

会場 藤枝市生涯学習センター ホール

主催 藤枝市青少年問題協議会・藤枝市青少年健全育成推進会議

（事務局：生涯学習課）

社会を明るくする運動藤枝地区推進委員会

（事務局：市民相談センター）

内容 青少年補導永年功労者表彰・社会を明るくする運動標語入賞者表彰

アトラクション 藤枝地区更生保護女性会による合唱『母の鈴』

藤枝少年少女合唱団による合唱

記念講演 演題 「今日の友人関係をめぐる光と影」

～子どもたちはどんな日常を生活しているか～

講師 土井 隆義 氏（筑波大学人文社会系教授）

1 藤枝市ジュニアリーダー養成教室を開講します

●野外活動・自然観察などの体験学習を通して、子ども会や地域での望ましいリーダーに成長させることを目的として、小学5・6年生を対象として3回コースで開催します。

内 容

第1回 令和元年7月13日(土)～14日(日)(県立焼津青少年の家)  
野外活動(海洋活動、レクリエーションの実技指導)やグループワーク、KYT研修(基礎編)など

第2回 令和元年9月28日(土)～29日(日)(大久保キャンプ場他)  
野外活動、野外炊飯、キャンプファイヤー、グループワーク、レクリエーション指導、KYT研修(実践編)など

第3回 令和2年2月 8日(土)(勤労青少年ホーム)  
講義、グループワーク(リーダーの心得)、レクリエーション指導など

参加者数 16名

1 藤枝市親子写生大会特別賞表彰式を行います

●藤枝市子ども会世話人連絡会の主催で開催された平成31年度親子写生大会における特別賞の受賞者が決定したので、表彰式を実施します。

日時 令和元年7月22日(月)午後3時から4時30分まで

場所 藤枝市生涯学習センター 第1会議室

内容 特別賞の表彰：市長賞1名、教育長賞1名、校長会長賞6名(小学生6名)、市子連会長賞8名(未就学児1名、小学生6名、保護者一般1名)計16名  
表彰式に先立ち3時15分から特別賞16点について、審査員からの講評を実施

主催 藤枝市子ども会世話人連絡会

共催 藤枝市教育委員会

生涯学習センターで7月12日(金)から22日(月)まで特別賞・入選・佳作の展示、駅南図書館で7月23日(火)から8月4日(日)まで特別賞の展示を行う

学校給食課長

1 学校給食で発生する廃棄物の3R促進事業

～親子で参加する3R体験ツアーを実施します～

●学校給食課と環境政策課が連携して、学校給食で発生する廃棄物の3R促進事業の一環として3Rツアーを実施

<3R体験ツアー>

・農作物の収穫体験を通して作物の栽培の大変さを知ってもらいます。

- ・その作物などを使用し、食材を使い切る調理方法をABCクッキングスタジオで実施し、身近な所でも食品ロス削減ができることを知ってもらいます。

- ・中部学校給食センターで、給食を作るときに発生した野菜等の端材や、給食で食べ残した残渣で作りたい肥について説明を受けリサイクルについて学んでもらいます。

実施日時 令和元年7月6日(土)、7月21日(日) 雨天決行

対象 小学校5年生の児童と保護者

募集人数 開催日ごとに12組

参加料 無料

- 内容
- ①野菜生産者を訪問して、とうもろこしを収穫。
  - ②ABCクッキングBiVi藤枝スタジオで、収穫した野菜などを使った「食べきり料理」の調理と実食。
  - ③中部学校給食センターで、調理くずの堆肥化を見学。  
\*動画教材製作事業として動画教材製作委託業者が活動内容を撮影します。

図書課長

1 令和元年夏に開催する主な図書館行事について

■夏休みお楽しみおはなし会 7月27日(土)10:30~11:30  
岡部支所分館集会室

■夏休み特別講座  
「英語絵本で英会話~スイミーといっしょに~」  
7月28日(日)13:30~15:00 駅南図書館集会室

■夏休み特別おはなし会 7月31日(水)10:30~11:30  
駅南図書館おはなしの部屋

■静岡産業大学との連携講座「自由研究のスタートを応援」  
8月1日(木)13:30~15:00 駅南図書館集会室・会議室

■夏休み子ども映画まつり 8月6日(火)10:00~12:00  
駅南図書館集会室

■夏休み特別講座「あなたの脳はだまされている、かも！」  
8月4日(日)14:00~15:30 岡出山図書館2階視聴覚室  
8月17日(土)10:00~12:00 岡部支所3階

■ふじえだイクメン講座  
「絵本で子育て~パパの絵本読み聞かせ~(仮)」  
8月25日(日)10:00~11:30 岡出山図書館2階視聴覚室

教育長	これより質疑に入ります。質疑はありませんか。
浅井委員	見守り推進事業の端末は持っていれば24時間使えるということですか。低学年だと帰ったと思ったらまだ家に帰っていないことがあり、みんなで探した経験があるため、位置情報が分かると助かると思います。あともう1点、対象者が1万2千人ということですが、小学生で考えて何パーセントくらいになるのですか。
教育政策課長	まず、24時間使用できるかということですが、中にバッテリーが内蔵されており、そのバッテリーがもつ限りは使用ができます。このバッテリーは3日もつと聞いております。  次に対象者が1万2千人ということですが、基本的に対象としては3千人くらいを予定しております。検証として、まず1年生を対象に実証実験を行い、その後アンケート調査を行いました。その中で8割以上の保護者の方が安心したと回答していただいていますので、予算的には3千人をカバーできるくらいで考えておりますが、それ以上の申し込みがあれば、対応をしていきたいと考えております。今年度の事業でもアンケートを取りますので、それを来年度に生かして行きたいと思っております。
増田委員	全小中学校の体育館に4台ずつスポットクーラーを設置ということですが、少し少ないように感じるのですが、体育館の規模でスポットクーラー4台で十分効果があるのですか。 また、一般の人がスポットクーラーを借りることはできますか。
教育政策課長	まず最初に規模についてですが、体育館は天井が高く広いため、そこにエアコンを入れるかどうかの検討はしたと思っておりますが、そうすると1つの体育館につき何億というお金がかかると聞いております。ただ、避難所となっておりますので、避難してきた方の体調管理などで使うということで、スポットクーラーは3mくらいまでは冷気が届くので、全体を冷やすというよりか、熱中症かなという時に、部分的に冷やすという対応となると思っております。ただ、扇風機などよりはエアコンで冷気が出ますので、良いと思っておりますが、今後必要に応じて検討をしていかなければならないと思っております。授業等で使ったご意見を聞きながら参考にさせていただきたいと思っております。また、災害以外では先生方に体が火照ったときに使っていただいたり、体育館の授業などで熱中症対策として使っていただければと考えております。一般的には、夜間体育館を借りる外部団体なども使えるようにしたいと考えておりますが、ただ承知しておいていただきたいのは、これは避難所の災害対策として、また子どもたちのために配置するものであります。大人が夜使いすぎて壊してしまうことがないように私たちも注意していきたいですし、そのような啓発を促したいと思っております。
山田委員	ジュニアリーダーについてですが、リーダーを養成した後はどうするのでしょうか。リーダーを養成してその後の子どもたちのために先輩としてというのは分かるのですが、この活動以外のところで彼らの養成された技量が生きてくるのはどういった場面があるのかお聞きしたいです。

大上係長

ジュニアリーダーに関しましては子ども会との繋がりもありますので、市の方から各小学校区に理事の役員の方との理事会を開催する中でジュニアリーダーについての周知を図りまして、各地域に子ども会での活動に派遣するなどしております。たとえばクリスマス会をやりたいとどこかの子ども会がいった時に、そのレクリエーションの指導や実技をさせていただいたりしております。子ども会以外の活動でいいますと、一部の小学校で開催しております通学合宿の中で一つのメニューとしてレクリエーションの指導というものを行っております。その他恒例行事の中で子ども会の中でフェスティバルとかがあればクラフトを担当したりといった活動しております。

山田委員

子ども会の活動というのは地域差があるような感じがしていて、私が行っていた子ども会というのは保護者が今年1年を無事に終えて次の学年に渡すための、こなしていくだけのものという感じに思っていたものですから、残念だと思っていましたし、子ども会の行事や活動がもっと子ども中心になっていけば良いと思っております。今も近所の子ども達をみていると子ども会というのが生きていないなと感じて仕方がないものですから、きちんと機能している学区や地域もあると思いますが、そうでない所についてもう少し子ども会の活動が理想的な形に向かっていけるように地域の中でもそういうことのお手伝いができるのではと感じています。

大上係長

今いただいたご意見については貴重なご意見として今後の子ども会活動に活かしていきたいと思っております。ジュニアリーダーも規模的に周知が十分ではない中で、子どもを養成していく中で子ども会の意義とういものを高めていけたらと考えておりますし、県の子ども会というものもありまして、各種の連合体になるのですが、そちらからも適宜情報などもいただいております。今年度県の技能士の派遣に関して子ども会での活用が可能になりまして、市内だけでなく広く子ども会活動の活性化について意見が出されておりますので、そういった情報を適宜、市内におろしていきたいと思っております。またご支援の方よろしく申し上げます。

浅井委員

図書課の企画についてですが、色々な形の新しい良い事が企画されていて、とても嬉しいです。図書館が読書の中心の場だけれども、情報発信の場という形で図書館に行けば色々な事が知れて体験できる場になっているということが、本当にありがたいですし、そういう風に市民の方や子ども達が認識してくれたら、情報の中心になっていくような気がして嬉しく思います。ただ、岡部支所分館集会室というのは、一般の方がどこにあるのかが分かりにくいと思うので、どうにかならないのでしょうか。

図書課長

この分館集会室というのは岡部支所分館のホールということでございます。本当は支所の図書館の方でやりたかったのですが、楽器で大きな音を出したいという要望がありまして広さとか音の関係でこちらの会場にしました。

教育部長

名前についてですが、総称して市民ホール岡部にしてもいいのかなと思っております。たとえば藤の瀬会館は総称でして、正式には瀬戸活性化施設というように言うのですが、ほとんどそう呼ぶ人はおりませんので、そういう形で呼ばれるようになっていけば良いと思っております。これについては、市民協働の方へ愛称でも募集してみんなに親しまれるような名前を考えたらどうかという提案があったということで話をしておきます。



## 横山委員

議員さんの質問内容を聞き、多くの議員さんが教育問題について真剣に取り組んでいるということが分かって大変うれしく思いました。ただ今回6人の方が質問をしているのですが、中身が似た内容になっていて、党派や議員さん間ですり合わせをやっているのかというのを疑問に思いました。議員さんがどういう質問をしているのか載っているものだけでは分からないので、実際に質問内容を聞く必要があるなと思いました。また、子ども達の安心安全についてですが、私の家のすぐ近くにお稲荷さんというのがあって、松の木で覆われてしまっていて、私の屋敷とお稲荷さんの間に1mくらいの空間があるのですが、不審者が潜んでいたことがありました。

それをある人が見つけて、危なくてしょうがないので地域の人からお稲荷さんの持ち主に話をし、松の木を半分に切って隠れられないようにしたことがありました。地域を歩いてみると危ないと思われる箇所がいくつかあります。気になっているのが、屋敷から道路側に木が出ていて、子どもたちがそれをよけて車道側へ行くというところが何箇所かあります。そういうところを、地域の人達に話をし、地域の人から持ち主に話をしてもらって、切ってもらなど対応をしてもらいようにしていかなければならないと思いました。年度初めに学校の方でPTA活動として、安全点検というのをやっていると思いますが、もっと徹底していかなければいけないと思いました。たくさんそういった箇所があって一度にはできないと言われてしまいますが、実際に見ていただいて、地域へPTAや学校から働きかけるなどして、対応していかなければならないと思いました。

また、見守り推進事業についてですが、1つ心配なことがあります。今の世の中子どもに端末を持たせて安全になるというのは良いことではあると思うのですが、日本人の考え方として、川に落ちたというのを柵を作って子どもを守ろうとします。子ども達は、自分が悪いから落ちたというのではなくて、柵をしていないから落ちたという風に考えるのではないかと思ひ怖く感じています。このサービスについても、危険への対処の仕方が自分の判断でできない子が増えていくような気がしてなりません。それが非常に心配です。

## 教育部長

まず1点目についてですが、議員さんが何を質問するかということですが、その会派の中ですり合わせをすることもありますが、基本的に自分が発言したいこと、聞いてみたいことはその人自身が考えるものですから、同じような内容が出ることはあります。実は、今回はじめに増田議員さんからブロック塀の話の通告がありました。基本的には通告をしたことには、私たちは答えないとはいけないのですが、本会議場で深津議員さんに私たちが説明した内容で了解したので、通告はしましたが、質問はいたしません、という形になりました。私達も違う回答をすることはないわけですから、そういう形にさせていただけると助かります。

また、不審者についてですが、地域の方のご理解で、そういう判断をしていただいて率先して子どもの安全のために動いていただいてありがたく思います。

ただ行政でやることというのには限界があります。横山委員が言われたように、地域の人で少しずつ気をつけていけば解決する問題が多いです。隣の敷地に木が入ったら切るのはあたりまえですが、行政を通じてすることが多いです。しかし行政が木を切ってくださいというのはできないわけです。地域の教育力という言い方をし、良いかわかりませんが、本来道徳的なもので保たれている暗黙のルールが守られていない社会になっているのかなと思います。こういったものを機会にして、地域の方や我々行政も含めて今後を見

直していけたらいいと思います。そういった意味では家庭教育や社会教育を地域にどうやって根付かせていくのかというのが課題なのかなと思います。委員さんの中でも気がついたことがあれば連絡していただいても良いですし、地域へ呼びかけていただく形でしていただくと助かります。見守りの関係ですが、実証実験をやった中で父兄の方々が安心だという一つの形として、ご意見が多かったものですから、ただこれは選択性ですのでやりたいという方に持っていただけたらと思っています。自分が悪いから痛い目にあったという教育も必要だと思いますが、そういった部分は家庭教育や社会教育の中で、進めていかなければならないと思います。

教育長

その他質疑はありませんか。ないようですので、それでは以上で本日の全日程を終了しましたので、6月定例会を閉会いたします。

閉 会

午後3時00分